



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区まちづくり協議会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

まち協だより

第7回理事会 (11月3日)

- ①新たな自主防災組織についての案が提示されて審議したが、専門的な知識・経験を有する人も含めた「自主防災組織検討委員会」をつくり、そこで具体的に検討してもらうこととした。
- ②まちづくり協議会の組織の改正案が提示され、次回の理事会で審議することとし、特に町内会の役員の変更については、次回で必ず結論を出すことを申し合わせた。
- ③各町内会の役員の選出にあたっては、高齢化などで輪番制によって役員になることが負担となっている世帯もあるので、各班会議の話し合いで合意・納得の上で順番を飛ばすなどの配慮がなされるよう、町内会長から指導していただきたい、と要請があった。

桐ヶ丘自治協役員らの説明を聞く参加者



午後一時頃に桐ヶ丘地区市民センターに到着、会長はじめ七人の方々に迎えていただき、あいさつを交わした後早速研修に入りました。桐ヶ丘地区は、昭和58年に分譲を開始した新興住宅地で、現在約

まちづくり協議会は11月3日、伊賀市の「桐ヶ丘地区住民自治協議会」の視察、研修を行

いました。参加したのは、中原一會長以下、副會長、理事、監事12人と、まちづくり行動計画特別委員会の委員4人、事務局員3人の計19人。研修先は、草津市のまちづくり協働課に紹介してもらいました。

まち協が伊賀市の先進自治会を視察

防災、景観、福祉を柱に

意欲的な取り組みに驚く

1900世帯、人口約5300人と、志津南地区のおよそ2倍の規模です。

伊賀市は平成16年、「自治基本条例」の施行に伴い、住民自治協議会制度がスタート、平成17年4月に桐ヶ丘地区住民自治協議会が設立されました。志津南地区まちづくり協議会より7年先行しています。



代議員総会が最高議決機関

桐ヶ丘地区住民自治協議会を構成するのは、桐ヶ丘自治会、NPO法人まちづくり桐ヶ丘、公民館、老人クラブ、桐ヶ丘商店会、民生委員・児童委員で、自治会は8丁で構成されています。幹事会、運営委員会のもとに6部会、7特別委員会が設置され、代議員制の総会が最高議決機関となっています。

収入は、伊賀市からの地域包括交付金、地域活動支援事業補助金、自治会分担金、NPO分担金、公民館事業委託金等となっており、支出は、役員活動費、事務局人件費、印刷製本費、備品購入費等の事務費と、地域

支え合い事業等十数件の事業を実施する事業費から成っています。

桐ヶ丘地区は「安全・安心な住み良さが実感できる「まちづくり」の実現に向けて、重要課題として「防災」「防犯」「景観整備」「高齢者福祉」を掲げて活動を進めてきました。

また、少子高齢化の進展に伴って「地域支え合い」が最大の課題となっており、そのため三年前から地域活動支援事業補助金制度を利用して、「地域支え合い体制づくり」に取り組んでいるということです。

情報流出防止の仕組み確立

これは「桐ヶ丘サロンの利用と世代間交流事業」として、事務所改造とサロンの開設による会員と子ども達の居場所づくりや世代間の交流を深める活動を進めたり、「支え合い体制づくりシステム構築事業」として、システムソフトを制作し、プライバシー保護や情報流出防止の仕組みも確立して、各種住民データを一元化して効率的に利用できるようにするなど、意欲的に取り組んでいます。

最後に、順調に地域活動が進められている秘訣を尋ねると、「ここまでは、やはり山あり谷ありでした。地道に一步

一步前進するしかないですね」と努力の積み重ねを強調していました。

左義長は1月13日

志津南地区まちづくり協議会は、恒例の左義長を平成25年1月13日(日)午前9時30分から11時30分まで、若草中央児童公園で行います。

お正月のお飾りや、お札類、お子さんの書初めなどを焼きま

す。ぜひご参加ください。ただ、お飾りのみかみやビニール袋、一般ごみなどは持ち込まないようお願いします。

休館日のお知らせ

志津南市民センター(公民館)は、今年12月29日(木)から来年1月3日(火)まで休館します。

子ども会資源回収

- 12月16日・1月6日 若草一丁目〜五丁目
- 12月23日・1月13日 若草六丁目〜八丁目
- 岡本町西・グリーンピア回収品

古新聞(チラシと一緒で可)

☆雑誌・段ボール・古着 9時までに自宅前へ

新居浜市社協が視察

ふれあいハウスの説明を聞く



ふれあいハウスの説明を聞く
新居浜市社協役員ら

愛媛県新居浜市の社会福祉協議会の役員15人が11月16日、志津南地区社会福祉協議会の地域支えあい拠点「ふれあいハウス

絆」を視察しました。この日、草津市を訪れた一行は、草津市社会福祉協議会で、舟本事務局長から市協の地域福祉活動などの紹介に続き、志津南地区社協の小野会長、松本副会長が志津南地区のまちづくり協議会の仕組みと、地域支えあい拠点整備（ふれあいハウス活動）の取り組みについて説明しました。

新居浜市社協役員から「このようになまちづくり協議会の仕組みを作りたいと取り組み始めている。どのようにして出来たのか」「新居浜でも協議会のしくみを進めているが、自治会やその他の団体に理解してもらうのが大変難しい」「ボランティアが主体の社協の組織作りはどう

したら出来るのか」など、まちづくりの仕組みに関する質問があり、志津南地区におけるまちづくり協議会の仕組みと、その構成団体として、地域福祉推進の中核を担う社協の仕組みなどについて説明しました。

市社協での懇談を終えたあ、ふれあいハウスに会場を移し、2階で、パワーポイントによる「ふれあいハウス 絆」活動を紹介、懇談しました。その中で「町の中心にこの様な場所があってもいいな」「ハウスの運営維持管理は？」など意見交換しました。新居浜市社協役員らは「このようなまちづくりをしていきたい、参考にしたい」と刺激を受けた様子でした。



平和祈念講演会を開催

志津南地区社会福祉協議会（小野栄祐会長）は11月25日、志津南市民センターで「平和祈念講演会」を開催、住民ら約100人が参加しました



今回は市内西蓮寺の住職、上

寺和親さんを講師に招き「高齢者社会を生きる《絆と心の平和》《ともに生きること》をかんがえよう」と題して人と人とのつながりの大切さについて話していただきました。

はじめに参加者同士が仲間意識を持てるように一分間で出来るだけ多くの人と握手をするゲームを行って雰囲気や和らげたと、講演に入りました。

さらに上寺住職は小学生の書いた詩や司馬遼太郎の一節を読み上げ「人間は、自分だけで生きていくのではなく、支えあっていること」の大切さを訴えるとともに、金子みすずの「私と小鳥とすずと」「世界に一つだけの花」などを引用し、地域においてナンバーワンにならなくてよい。人と比べるのではな

く、皆一人ひとり違うものを持つ、オンリーワンである。オンリーワン同士が助け合い、つながって生きていくまちづくり、故郷づくりが大切である」と強調、参加者の心に響く講演となりました。

この日、「平和祈念講演会」に合わせて「ボランティアアクトアップ泉（藤田清子代表）は市民センターの和室、ロビーで恒例のお茶会を開きました

もみじ、お茶の花などを飾り、気楽な雰囲気心がけたお茶席に、講演を聞き終えた方々が大

講演会にあわせお茶会

残念ながら落ち葉は九分程度、集めた後からあとから枯れ葉がばらばらと、せつかく清掃した路面に舞い落ちていました。



（環境美化委員会）

秋の一斉清掃

志津南地区の秋の一斉清掃が11月25日に行われました

午前8時30分、参加者約730人が清掃道具を手に最寄りの公園に集合、同10時には19カ所の集積場は刈り草や落ち葉が大きな山を築きました。



真。

る便利な機械ですが、使っている本人だけでなく、周りにいる人がけがをしたり、思ったより遠くの車等を傷つける危険性を十分知っておくことが大切です。

講習会には各町から15人が参加、半径15メートルの範囲が危険であることを学び、次に気持ちよく使える後片づけの方法などについて質問や、その方法の掲示要望が出るなど活発な講習会となりました。

草刈り機講習会を開催

町内の美化活動が進み、ほとんどの町でいわゆる「草刈り隊」の活動が活発になるのに伴い、刈払機（エンジン付き草刈り機）の使用頻度が増えてきたことから、環境美化委員会は11月10日、日頃点検・修理でお世話になっている奥清商店の奥村常務を講師に、この機械の安全な使い方、始動方法、使った後の手入れなどの講習会を開催しました

第10回チャレンジスポーツデー

志津南地区体育振興会(辻井会長)は11月23日、第10回チャレンジスポーツデーを開催、参加者136人が桐生ウォーキング、志津南小体育館でのじゃん



けんサッカーなどを楽しみました。写真。

午前の部は、昨年実施して好評を得た「桐生方面へのウォーキング」を実施、午後の部は志津南小学校体育館でスポーツまつりで盛り上がった「じゃんけんサッカー」と「ニュースポーツスタンラリー」を実施しました。

当日は、時折小雨がばらつく天候でしたが、ウォーキングでは児童も含めた参加者2人が、元氣よく志津南小学校を出発しました。途中、紅葉真っ盛りの景色に感動し、見つけた野いち

ごを口にするなど、ベビーカーで参加した幼児を含め、幅広い年齢層の参加者は全員無事に約8キロを歩き通しました。

「じゃんけんサッカー」は町内対抗形式で実施し、相手チームとのじゃんけんに勝てばゴールで1点、途中で負ければ振り出しに戻って再度勝負に挑むゲームです。大声で「最初はグー、じゃんけんぽい」と気迫十分な人、クールな顔でじゃんけんする児童など、制限時間内での繰り返しの挑戦ですが、翌日の筋肉痛が心配になるほどの盛り上がりよかったです。

「ニュースポーツスタンラリー」では、ディスコン、囲碁ボ

ール、ストラックアウト、フリービンポン、輪投げ、フラフープにも多数の参加があり、笑顔歓声があふれる一日でした。志津南地区体育振興委員会で、地区の一体感や活力を醸成するため、今後も気軽に親しんでもらえるスポーツを紹介していきます。

- 優勝 岡本町西
- 準優勝 若草八丁目
- 第三位 若草二丁目
- 敗者復活優勝 若草七丁目

言の葉 こぼれ話

月と逢引

初々しい十三夜、明るい満月、そしていざよい(十六夜)、立待ち、居待ち及び寝待ち月。

昔の人は何をそんなに楽しみに待っていたのでしょうか。昔は通い婚でした。逢引は月夜にするものだったようです。お月さまが出たら愛しい人が来てくれる。百人一首にも月を詠み込んだ恋の歌がたくさんあります。

十五夜の前後四日、つまり九



日間が逢引のできる夜だったようです。しかし雨が降ったりすると、逢引は禁忌でした。では雨夜には逢引をしないかという

と、必ずしもそうではなく、雨夜の場合には特別なルールがありました。その前に、なぜ雨夜は逢引が禁忌だったのでしょうか。

万葉集の歌を見ると、雨

り、緑の葉を紅葉にしたりする不思議な力を持つものと考えられていたようです。このような雨の呪力の代表は農耕における水でしょう。雨を降らせるのは海神。神が雨を降らせるのなら農作物は雨の呪力で成長し、それを食物として人は活力を得る。このように雨は呪力のあるものだから、雨が降った外に出るは

いけなかったのです。逢引に出かけるのが禁忌だったのは当然でしょう。といて、たとえば田植えに蓑笠を着ることがある

ように、絶対に雨にあたってはいけなかったかという、そうでもなく、特別な時、祭りの時などには雨に触れてもよかったです。特別な衣装をしていけば、雨の日の外出も許されました。蓑笠はその扮装です。蓑笠姿は人の秩序から外れた姿、神の側の姿なのです。

逢引も笠を着ればよかったです。だから、笠は恋人ができて編んだものらしく、笠を編んだわけでもないのに噂が立った、という歌もあります。

月夜も雨夜も、恋人たちにはきつと気のもめることだったでしょう。そしてたくさん歌が生み出されたのです。

琵琶湖クルージング楽しむ

志津南社会福祉協議会ボランティアグループ泉(藤田清子代表)は11月2日、独り暮らし、昼間独りの方たちと交流ふれあいバスツアーを実施しました。

秋の深まりを感じるこの日は、少しくずついた天候でしたが、31人の参加者はびわこミシガンクルージングを楽しみました。バスで市民センターを出発した一行は白波の立つ湖面に身を寄せ合うように浮かぶ水鳥の群れを眺めながら、ほどなく浜大津港に到着、岸壁にもやう赤と白を基調とした3層のキャビンを持つおしゃれな外輪船ミシガンが眼に飛び込んできました。

カーペンタースの軽快な曲の演奏などミニ・ショーに耳を傾けながら、右手の近江富士、左手の比良の山並みを遠望するなどゆったりと寛ぎました。写真。やがて「さざなみの 志賀の都よ いざさらば」と琵琶湖周航の歌に送られ下船。このあと草津市鳥丸半島のロックベイガーデンで昼食と買い物を楽しんだのち、帰途につきました。

若寿会はバス旅行

若寿会は11月7日、秋のふれあいバス旅行を実施、今年3月、東近江市にオープンした滋賀県平和祈念館を訪れました。写真。



戦後67年、戦争の記憶が薄れゆく中、当時の出来事や生活等の展示を見、全員が戦中戦後を経験し生き抜いた者ばかり、改めて平和の尊さをかみしめました。

昼食は近江八幡休暇村で紅葉と秋の琵琶湖を満喫、帰りには滋賀県立琵琶湖博物館も見学しました。



木目調の船内では滋賀の名所・史跡が映像で紹介されたり、

こよみ

- 12月19日(水)
 - ★ やすらぎ学級 13:30～17:00
 - 12月22日(土)
 - ☆ 社会奉仕：若寿会 8:30 若草中央公園集合
 - 1月5日(木)
 - ★ 子ども会書初め大会 9:00～12:00
 - ★ 子ども会書初め展示会 1月5日～19日 15:00まで
 - ☆ 健康ウォーキング：若寿会 8:45 若草中央公園集合
 - 1月13日(日)
 - ☆ 左義長 9:30～11:30 若草中央公園
-
- 毎週金曜日
 - ☆ ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00～12:00 若草第五集会所
 - 毎日(金曜日を除く)
 - ☆ ふれあいハウス「絆」 10:00～16:00 若草第六集会所(六丁目)
- ★ 印の会場は志津南市民センター(公民館)です



池田さんから牧場シエラート一代記を聞く参加者

また、牧場経営に携わる池田喜久子さんから、生産過剰となった牛乳を加工、シエラートを販売しようと、イタリアマまで一人で学びに行き、たぐさんの方の協力を得てシエラートショップと農家レストラン経営に至った「池田牧場のイタリアンシエラート」一代記を聞きました。受講生の皆さんは、笑いを交えながらの繁盛記に興味深く耳を傾けていました。

古今東西が終了

志津南市民センターの教養文化講座「古今東西「復興」近江のかくれ里の今」が11月30日開かれました。

今回は東近江市のヒトミワイナリー・日登美術館と、池田牧場を訪れました。

ヒトミワイナリーの見学は酵母の状態によりワインの瓶詰め過程に入ったため中止となりましたが、隣接した日登美術館を訪れました。

館では、イギリス人のバーナード・リーチの作品などを鑑賞しました。美術館とは別に、あらたな事業として地元産のぶどうを使ったヒトミワイナリーについても説明を受けました。受講生はワインの試飲をしながら、ワインの酵母で作られたパンを味わいました。

池田牧場では「害獣として捕まえた鹿をただ駆除するのでなく命をいただくと考えている」と、昼食に鹿の肉を使った料理などを頂きました。

名画の観賞会

志津南市民センターは、高齢者つどい推進事業として映画会を同センターで開催、10月27日に「理由なき反抗」、11月10日に「エデンの東」を上映しました。

ジェームス・ディーンの映画は何度もテレビでも放映されてきましたが、大きなスクリーンで見ると、青春時代にあこがれたスターとの再会にときめき、「理由なき反抗」では、演技の迫力を、「エデンの東」のラストシーンでは、親子の絆に感動、何度見ても心に残るとの感想が寄せられました。

なお、市民センターでは、今後も高齢者の社会参加や生きがいづくりにつながるよう、「みんなでカラオケを楽しもう」、「マ

公民館で消防訓練

志津南市民センター(公民館)は11月16日、同センターの一斉清掃と消防訓練を行いました。写真。

「古今東西」は、今回の第3回をもって全日程を終了しました。

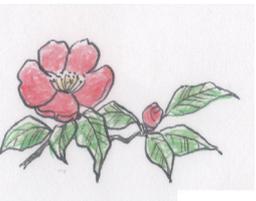


公民館を利用するサークルや地域の団体の皆さんが日頃は手の届かない隅々まで清掃し、館内外がすっきり美しくなりました。

引き続き、湖南・南消防署のご指導で避難訓練を行いました。給湯室からの火災発生を想定して駐車場に避難した後、参加者全員が消火器による消火訓練をしました。

終了後、地震への備えについてのお話もあり、災害発生時はまずみずから動くことの大切さを学びました。

折々の記



岩シャジンという花をご存知でしょうか。

キキョウ科の山野草で、別名イワツリガネソウとも称されています。その名のとおり、細い茎に釣り鐘形の花をぶら下げないようにつけ、色は青紫色で清楚な花です。この花を私が所属している花ボランティアの方から「これを咲かすことができれば勉強になるよ」と、この春一鉢いただきました。

私は、花ボランティア発足以来、細々と、やすらぎ空間の手入れに関わってきましたが、今年度は代表としてお世話することになりました。花づくりにあまり知識がないので、これを機会に詳しく勉強を始めようと思っていた矢先の出来事でした。

岩シャジンを育て始めると、天気、気温、置き場所、肥料、水やり等、いろいろなことに気を配るようになりました。

今までポットの苗しか育てたことがなかったのですが、種から育てることも挑戦し、夏の花が、秋になった今でも生き生きと咲き続けています。その喜びは、子育てにも似て、花への愛情が一段と増し、園芸雑誌や、テレビ、園芸に知識のある方々との交流などますます花づくりに夢中になっています。

公園や自宅の庭、ボランティアの場所、花壇の手入れをしていると、多くの方が温かい声をかけてくださったり、沢山のアドバイスをいただきます。

また、何よりうれしいのは、花壇をより美しくしようと、草引き、水やり、花の植え替えなど作業と一緒にして下さるボランティアの方々との知り合いになったことです。

岩シャジンは、私に花づくりの楽しみと、生きがいをもたらしてくれました。花づくりは私のライフワークとなることでしょう。

花づくり

ガーデンングを楽しんでおられる若草の皆さん、ご一緒に若草中央公園「やすらぎ空間」を四季折々の花で彩ってみませんか。

毎月第一火曜日、午前8時から作業しています。ぜひ、お手伝いください。

今年10月、岩シャジンが可憐で、清楚な青紫色の花を咲かせました。感動です！「合格」というお褒めの言葉をいただきました。

(若葉マークのはなづくり)

引き続き、湖南・南消防署のご指導で避難訓練を行いました。給湯室からの火災発生を想定して駐車場に避難した後、参加者全員が消火器による消火訓練をしました。

終了後、地震への備えについてのお話もあり、災害発生時はまずみずから動くことの大切さを学びました。